

# はつらつ体験塾 通信



令和4年度 第3回フレンドリーキャンプ号 令和4年12月27日  
新潟県少年自然の家

## 友達と仲良く協力することができました



12月17日（土）・18日（日）に、胎内市の新潟県少年自然の家とイオンモール新発田を会場にして、第3回はつらつ体験塾フレンドリーキャンプを行いました。小・中学生21人、学生ボランティア8人が参加したキャンプの様子をお知らせします。

12月17日（土）

13:00	13:30	13:40	14:10	15:00	17:30	18:30	19:30	21:30
受付	出会いのつどい	レクリエーション	お祭り	お菓子づくり	夕食休憩	キャンディナイト	お風呂自由	就寝

出会いのレクリエーションでは、新聞紙の棒をキャッチする「棒キャッチ」を行いました。活動班で円になって、地面に棒を立てます。合図に合わせて一斉に手を放し、隣の人の棒が倒れる前にキャッチするゲームです。班の友達と息をぴったり合わせることが大切なゲームです。最初はなかなかキャッチできなかった班も、「せーの！」と声を掛け合いながら何度も繰り返すことで、上手にできるようになっていきました。うまくいくと「やったー。」「できたー。」などの声が自然と沸き上がり、一体感が生まれる様子が見られました。



お菓子づくりでは、いちご大福づくりにチャレンジしました。前半は「求肥チーム」と「あんこ玉チーム」に分かれ、外側の皮の部分になる求肥を作ったり内側のあんこ部分を作ったりしました。後半は求肥の皮であんこ玉を包む「ちゅるちゅる隊」となり、いちご大福を完成させていきました。出来上がったいちご大福は、求肥の皮が破れたものもありましたが、どれもおいしそうです。



夕食後に、それぞれ作ったいちご大福を食べました。あんこが苦手と言っていた子もおいしそうに食べていました。自分で作ったいちご大福は、最高の味でした♪



夕食後に行ったキャンドルナイトは、初めに、ろうそくを入れたオレンジ、緑、紫、青の4色のグラスを班の友達と「どう並べたらきれいになるかな？」と相談しながら、思い思いに並べていきました。並べたグラスのろうそくに火を灯すと、柔らかい明かりが辺りを照らし、薄暗い広場が暖かな4色の明かりで満たされました。近くで見たり遠くから眺めたりして、感想を述べ合いました。自分の班だけでなく、ほかの班の作品のよさも感じながら、穏やかな気持ちで冬の夜のひと時を過ごしました。



12月18日(日)

6:30	7:30	8:20	13:00	13:10	13:30	14:30
起床	朝食	電車に乗ってランチ in イオンモール新発田	別れの つどい	イオンモ ール解散	車で移動	自然の家 解散

2日目は、電車に乗ってランチ in イオンモール新発田の活動です。中条駅で切符を買って電車で移動しました。外は大雪で寒さが一段と厳しかったですが、みんなワクワクしながら出かけました。初めて切符を買ったり電車に乗ったりする参加者にとっては、一大イベントになりました。しっかり乗車ルールを守りながら電車に乗りました。素晴らしい！

イオンモール内では、飲食店に行って食べたいものを自分で注文したり、代金を支払ったりしました。事前にどのお店でランチを食べようか考えていきましたが、実際いろいろなお店を目の前にすると、どの食べ物もおいしそうで目移りしました。参加者を見ると、みんな笑顔で活動しており、『楽しくて仕方ない♪』といった様子でした。ある班は、ラーメン屋でアツアツのラーメンをすすったり、またある班は、フードコートでハンバーガーを食べた後にデザートとしてドーナッツをほおぼったりと……。楽しくておいしいランチとなりました。

食後、集合時刻まで余裕がある班は、お買い物にも出かけました。欲しかった雑貨を買ったり、おうちの人へも土産を買ったりと、子どもたちだけで買い物を満喫していました。全部の班が集合時刻までに戻ってきて、とっても素晴らしかったです。



看護師さんや学生ボランティアの皆さん、保護者の皆様のご協力があり、今回のはつらつ体験塾も大成功をおさめることができました。心から感謝いたします。ありがとうございました。

はつらつ体験塾担当：星野貴之・天木享